

2012 年度 協豊会関西地区 第 1 回会社見学会

～川崎重工業株式会社様見学～

協豊会関西地区では、活動の一環として、毎年「会社見学会」による連絡担当者の研修研鑽を図っております。年間 2 回の計画のうち、第 1 回目の見学会として、6 月 20 日（水）に神戸市兵庫区にある川崎重工業株式会社車両カンパニー兵庫工場を見学させていただきました。

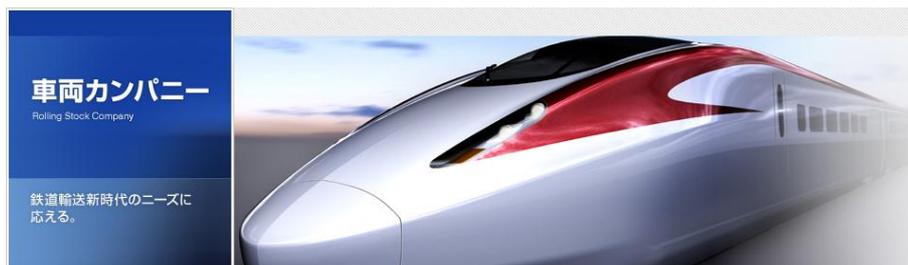


兵庫工場全景

川崎重工業株式会社様は、車両カンパニーを含め、計 7 カンパニーに分かれ、幅広い製品を製造しています。その製品群の内、著名なものをリストアップしただけでも、オートバイ、新幹線等の鉄道車両、潜水艦・タンカー等の船舶、P3C 等の航空機、産業用ロボット、廃棄物プラント、コージェネ等のガスタービン等、非常に多岐に亘る製品が有ります。

今回訪問した車両カンパニー兵庫工場では新幹線や電車の製造現場を実際に拝見する事が出来ました。大量生産とは異なる生産工程を現地で見学する事で、ものづくりに対する各員の認識を新たにする事ができました。

新幹線と言う非常に興味深い見学対象でしたが、自社製品へのこだわり・愛情、安全意識の高さ、手作業の重要性（匠の技）、高品質を維持する為の取り組み等、勉強になる事の多い見学でした。



川崎重工業殿 HP より借用



事前ガイダンス



質疑応答

また、その後同社の会場をお借りし、西日本旅客鉄道株式会社鉄道本部新幹線統括部担当課長の尾縄大輔氏に約1時間の講演を頂きました。尾縄氏はこれまで、保全やダイヤグラム編成の職務を経験して来られました。その観点から「山陽新幹線の安全・快適を守る仕事」と言う、今回の会社見学に関連したテーマで「**新幹線の安全は如何にして守られているのか**」「**異常発生時のダイヤの修復**」「**防災対策**」等、実際に現場に携わられた方ならではの貴重な講演を頂きました。



尾縄氏講演

最後に、今回の見学会の御世話を頂きました川崎重工業株式会社様には、見学前の概略説明及び見学後の質疑応答で懇切丁寧な対応を戴きましたが、質疑応答の際に言われた「新幹線はシステムです」との一言が講演で改めて認識でき、世界最高評価の日本の新幹線に誇りを感じた今回の会社訪問でした。

以上